用水路ができるまでの年月と人々の協力

先人は、用水路をつくるまでにどんな苦労をし、だれとどのように協力したのかな

当時の人々の願い：水が足りない土地に水を引き、田をつくって、くらしをよくしたい

困りごと

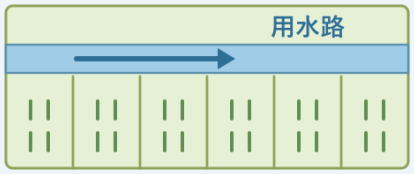
！ 高さをどう測る？
川より高い土地へ水を引くには、土地の高さを細かく測る

！ 反対する人もいる
「本当にできるのか」「田畑がけずられる」と心配する声がある

！ お金が足りない
工事に大きなお金がかかる。村だけでは出しきれない

！ かたい岩と、くずれる土
かたい岩は少しずつしかほれない。大雨で水路や土手がくずれ、やり直すこともある

完成：水が届く



水の届かなかった土地に水田が広がり、人々のくらしが変わる

計画を立てる → 村の人々と話し合う → お金と人を集める → 工事 → 長い年月がたった今

0年　10年　20年　（年数は架空の例）　30年（完成）

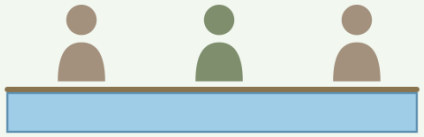
工事にくわしい人
土地の高さを測り、水路の道すじを考える

村の人々・となりの村
何度も話し合い、願いをまとめる。水の分け方も決める

役所の人・村の人々
役所が工事を認めて助ける。村の人々もお金や米を出し合う

村の人々・工事にくわしい人
道具を使い、交代で岩をほり、土を運ぶ。田畑の仕事のあいまにも工事に出る。長い年月、親から子へ受けつぐ。

今も受けつがれる



地域の人々が、水路の点検やそうじを続けて守っている

協力した人々

1人の力ではできない。立場のちがう人々が長い年月協力して完成し、今のくらしにつながっている。

※ 架空の例の模式。年数は計画の始めからの数え方。年数・順番・困りごと・協力した人は、用水路によって違う。